

NEC

P C 9 8 -

NX

活用ガイド 再セットアップ編

PC98-**NX** シリーズ

Mate

(Windows 2000 Professional /
Windows NT 4.0セレクトラブルモデル)

本機に添付されているマニュアルを、目的にあわせてご利用ください

ご購入いただいたモデルによっては、下記以外にもマニュアルが添付されている場合があります。『はじめにお読みください』6.マニュアルの使用方法,をご覧ください。

添付品の確認、本機の接続、Windowsのセットアップ

→『はじめにお読みください』

本機を安全に使うための情報

→『安全にお使いいただくために』

Windowsの基礎知識、基本的な操作方法

<Windows 2000を選択した場合>

→『Microsoft Windows 2000 Professionalクイックスタートガイド』またはWindows 2000のヘルプの中にあるオンライン形式の『Microsoft Windows 2000 Professionalファーストステップガイド』

<Windows NT 4.0を選択した場合>

→『Windows NT WorkStationファーストステップガイド』

本機の各部の名称・機能、システム設定(BIOS設定)、ATコマンド

→『活用ガイド ハードウェア編』(電子化マニュアル)

本機にインストール/添付されているアプリケーションの削除/追加、他のOSのセットアップ方法

→『活用ガイド ソフトウェア編』(電子化マニュアル)

トラブル解決方法

→『活用ガイド ソフトウェア編』(電子化マニュアル)

このマニュアルです

再セットアップ方法

→『活用ガイド 再セットアップ編』

本機の機能を拡張する機器の取り付け方、内部構造の説明

→『ハードウェア拡張ガイド』(電子化マニュアル)

ディスプレイの利用方法

→液晶ディスプレイ、CRTディスプレイがあり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルによって異なります。

選択アプリケーション(ワードプロセッサ/表計算ソフトウェア)の利用方法

→Office 2000 Personal、Office 2000 Professional、一太郎10・花子10バック&1-2-3 2000があり、マニュアルが添付されています。ご使用のモデルによって異なります。

ビジネスでお使いになるお客様向けのメンテナンスとサポート情報の紹介

→『NEC PC あんしんサポートガイド~ビジネスでお使いのお客さまへ~』

パソコンに関するNECの相談窓口や受講施設、故障時のサービス網の紹介

→『NEC PC あんしんサポートガイド』

Microsoft関連製品の情報について

次のWebサイト(Microsoft Press)では、一般ユーザー、ソフトウェア開発者、技術者、およびネットワーク管理者用に、Microsoft関連製品を活用するための書籍やトレーニングキットなどが紹介されています。

<http://www.microsoft.com/japan/info/press>



はじめに

このマニュアルは、再セットアップ方法について説明しています。

このマニュアルは、フォルダやファイル、ウィンドウなど、Windowsの基本操作に必要な用語とその意味を理解していること、また、それら进行操作するためのマウスの基本的な動作が一通りでき、Windowsもしくは添付のアプリケーションのヘルプを使って操作方法を理解、解決できることを前提に本機固有の情報を中心に書かれています。

もし、あなたがパソコンにはじめて触れるのであれば、上記の基本事項を関連説明書などで一通り経験してから、このマニュアルをご利用になることをおすすめします。

選択アプリケーション、本機の仕様については、お客様が選択できるようになっているため、各モデルの仕様にあわせてお読みください。

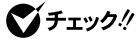
仕様についての詳細は『活用ガイド ハードウェア編』の「PART5 付録」MA60T/F、MA56H/Fをお使いの方は「PART4 付録」をご覧ください。

2000年 5月 初版

このマニュアルの表記について

このマニュアルで使用している記号

このマニュアルで使用している記号や表記には、次のような意味があります。



してはいけないことや、注意していただきたいことを説明しています。よく読んで注意を守ってください。場合によっては、作ったデータの消失、使用しているアプリケーションの破壊、パソコンの破損の可能性があります。また、全体に関する注意については、「注意事項」としてまとめて説明しています。



パソコンを使うときに知っておいていただきたい用語の意味を解説しています。



利用の参考となる補足的な情報をまとめています。



マニュアルの中で関連する情報が書かれている所を示しています。

2000...

Windows 2000に特有の機能や操作について説明します。

NT.....

Windows NT 4.0に特有の機能や操作について説明します。

このマニュアルで使用している表記の意味

本機	次の機種を指します。 PC98-NX シリーズ Mate (Windows 2000 Professional/Windows NT 4.0セレクトابلモデル) 本機がどのモデルに該当するかは、型番を調べればわかります。型番の読み方については、『はじめにお読みください』をご覧ください。
本体	ディスプレイやキーボードなどの周辺機器を含まないIPC 98-NX シリーズ Mate(Windows 2000 Professional/Windows NT 4.0セレクトابلモデル)を指します。
Mate	MA86T/C、MA73T/C、MA66T/C、MA56H/C、MA56H/Z、MA56H/L、MA70J/S、MA55J/S、MA53H/S、MA86T/M、MA66T/M、MA60T/F、MA56H/Fを指します。
NetPCモデル	フロッピーディスクドライブ、CD-ROMドライブが搭載されていない状態でご購入いただいたモデルです。 次の機種を指します。 MA56H/Z

アプリケーションCD-ROM	本機添付の「アプリケーションCD-ROM/マニュアルCD-ROM」を指します。
「スタート」ボタン 「設定」「コントロール パネル」	「スタート」ボタンをクリックし、現れたポップアップメニューから「設定」を選択し、横に現れるサブメニューから「コントロールパネル」を選択する操作を指します。
【 】	【 】で囲んである文字はキーボードのキーを指します
『 』	『 』で囲んである文字はマニュアルの名称を指します

このマニュアルで使用しているアプリケーション名などの正式名称

本文中の表記	正式名称
Windows	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system、またはMicrosoft® Windows NT® WorkStation Operating System Version 4.0
Windows 2000	Microsoft® Windows® 2000 Professional operating system
Windows 2000 Server	Microsoft® Windows® 2000 Server
Windows NT	Microsoft® Windows NT® WorkStation Operating System Version 4.0
Windows NT Server 4.0	Microsoft® Windows NT® Server Network Operating System Version 4.0

このマニュアルで使用しているイラストと画面

- ・ このマニュアルに記載のイラストと画面は、実際のものとは多少異なることがあります。
-

ご注意

- (1)本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁じられています。
- (2)本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
- (3)本書の内容については万全を期して作成いたしました。万が一不審な点や誤り、記載もれなどお気付きのことがありましたら、ご購入元、最寄りのBit-INN、またはNECパソコンインフォメーションセンターへご連絡ください。落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。
- (4)当社では、本装置の運用を理由とする損失、逸失利益等の請求につきましては、(3)項にかかわらずいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- (5)本装置は、医療機器、原子力設備や機器、航空宇宙機器、輸送設備や機器など、人命に関わる設備や機器、および高度な信頼性を必要とする設備や機器などへの組み込みや制御等の使用は意図されておりません。これら設備や機器、制御システムなどに本装置を使用され、人身事故、財産損害などが生じても、当社はいかなる責任も負いかねます。
- (6)海外NECでは、本製品の保守・修理対応をしておりませんので、ご承知ください。
- (7)本機の内蔵ハードディスクにインストールされている Windows 2000またはWindows NT 4.0 および本機に添付のCD-ROM、フロッピーディスクは、本機のみでご使用ください。
- (8)ソフトウェアの全部または一部を著作権の許可なく複製したり、複製物を頒布したりすると、著作権の侵害となります。
- (9)ハードウェアの保守情報をセーブしています。

Microsoft、MS、MS-DOS、Windows、Active Movie、NetMeeting、Outlook、PowerPoint、Bookshelf、Windows MediaおよびWindowsのロゴは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。

その他、本マニュアルに記載されている会社名、商品名は各社の商標または登録商標です。

©NEC Corporation 2000

日本電気株式会社の許可なく複製・改変などを行うことはできません。

輸出する際の注意事項

本製品(ソフトウェアを含む)は日本国内仕様であり、外国の規格等には準拠しておりません。本製品は日本国外で使用された場合、当社は一切責任を負いかねます。また、当社は本製品に関し海外での保守サービスおよび技術サポート等は行っておりません。本製品の輸出については、外国為替及び外国貿易法に基づいて通商産業省の許可が必要となる場合があります。必要な許可を取得せずに輸出すると同法により罰せられます。輸出に際しての許可の要可については、ご購入いただいた販売店または当社営業拠点にお問い合わせください。

このマニュアルの構成・読み方

本機に添付されている「システムインストールディスク」や「バックアップCD-ROM」を使って、本機のシステムを工場出荷時の状態に復元する方法などを説明しています。

必ず「再セットアップについて」を読んだ後に、再セットアップ方法を選択し、該当するページをご覧ください。

また、このマニュアルは検索性を高めるため、目次の次に索引を記載しています。

索引に載せてある用語は、目次、注意していただきたい内容(☑チェック)、用語(用語)、メモ(メモ)を検索するのに都合の良い言葉を選んでいきます。

はじめに	3
このマニュアルの表記について	4
ご注意	6
このマニュアルの構成・読み方	7
目次(このページです).....	8
索引	9
再セットアップについて	10
再セットアップが必要になるとき	10
システムの修復方法について	10
再セットアップする前の注意	11
標準再セットアップとカスタム再セットアップ	13
システムを修復する	17
前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する	17
Safeモードで起動する(Windows 2000のみ).....	18
「Windowsセットアップの修復」を使用してシステムを修復する... ..	19
標準再セットアップする	24
標準再セットアップについて	24
Windows 2000の設定をする	26
Windows NT 4.0の設定をする	28
カスタム再セットアップする	30
カスタム再セットアップについて	30
Windows 2000をカスタム再セットアップする	32
CドライブのみをFAT32で再セットアップする	32
CドライブのみをNTFSで再セットアップする	33
全領域を1パーティション(NTFS)にして再セットアップする	34
ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする	35
Windows NT 4.0をカスタム再セットアップする	37
CドライブのみをFAT16で再セットアップする	37
CドライブのみをNTFSで再セットアップする	38
8.4GBのNTFSで再セットアップする	39
NetPCモデルを再セットアップする	41
再セットアップする前の注意	41
再セットアップの手順	42

索引

ページ太字：説明や作業のあるページを指します。

ページ細字：図や文章に出てくるページを指します。

英数字

NetPCモデル	16, 41
PC-NF-U001	41
PC-NF-U002	41
Safeモード	18
Windows 2000の設定	26
Windows NT 4.0の設定	28
Windows NTセットアップの修復	21
Windowsセットアップの修復	19

ア行

アプリケーションを再セットアップする	27, 29, 49
--------------------	------------

カ行

カスタム再セットアップ	13
起動ディスク	43
構成の回復メニュー	18

サ行

再セットアップ	10
再セットアップする前の注意	11, 41
システム修復ディスク	23

システムの修復方法	10
システムの設定	45, 48
システムを修復する	17

ハ行

ハードウェアプロファイル	18
標準再セットアップ	13

再セットアップについて

再セットアップを行うと、こわれてしまった本機のシステムを復旧することができます。ただし、ハードディスクに保存したファイルが消えてしまいます。時間もかかる作業なので再セットアップが必要かどうかをよく確認してから始めてください。

再セットアップが必要になるとき

次のようなとき、本機の再セットアップが必要です。

1. トラブルによるシステムの復旧をするため
 - ・ 電源を入れても電源ランプは点灯するが、Windowsが動作しない。
 - ・ ハードディスクの中のプログラムが正常に動作しない。
 - ・ ハードディスク内のシステムファイルを誤って消してしまった。
 - ・ システムの修復を行っても問題が解決できない。
 - ・ Safeモードで起動しても問題が解決できない。(Windows 2000のみ)
2. ハードディスクの設定を変更するため
 - ・ Cドライブの容量を変更したい。
 - ・ ハードディスクを1つのパーティションにしたい。
(Windows NT 4.0の場合は最大8.4GBまで)
3. Windowsの設定を変更するため
 - ・ Windowsを工場出荷時の状態に戻したい。
 - ・ 登録した名前や会社名を変更したい。

再セットアップ

本機のシステムがこわれてしまったときに、CD-ROMに入っているデータをもとに、工場出荷時と同じ状態に戻す作業のことです。ハードディスクの構成を変えるときも、ハードディスクをフォーマット(初期化)し直すとシステムが消えてしまうので、再セットアップが必要です。

システムの修復方法について

システムの修復方法には、次の3通りの方法があります。どの方法を使うかはシステムの状態により異なりますので、次の順番で簡単な方法から試してください。

「前回正常起動時の構成を使用」メニューを使用して、システムを修復
「前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する」(P.17)



「システム修復ディスク」を使用して、システムを修復
「Windowsセットアップの修復」を使用してシステムを修復する」
(P.19)



再セットアップを行う

使用しないアプリケーションを削除したい場合や、削除したアプリケーションを追加したい場合は、『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加をご覧ください。

再セットアップする前の注意

- ・ ご購入時に選択したオペレーティングシステムを選択してください。選択しなかったオペレーティングシステムをご利用になる場合は、ライセンス取得のため別途オペレーティングシステムをご購入していただく必要があります。
- ・ NetPCモデルをお使いの場合は、後述の「NetPCモデルを再セットアップする」(P.41)をご覧ください。再セットアップを行ってください。
- ・ データのバックアップを行ってください。

再セットアップ方法によってはお客様が作成されたデータは再セットアップすることですべてあるいは一部消去されます。再セットアップ方法については「標準再セットアップとカスタム再セットアップ」(P.13)をご覧ください。

- ・ 本機の設定を控えてください。
再セットアップを行うと、ネットワークの設定などはすべて工場出荷時の状態に戻ってしまいます。再セットアップ後も現在と同じ設定で使いたい場合は、現在の設定を控えておいてください。
- ・ 必要なものを準備してください。
再セットアップの作業に入る前に、本機に添付されている、次のCD-ROM、フロッピーディスクを準備してください。

「バックアップCD-ROM」

「システムインストールディスク」

選択アプリケーションのあるモデルのときは、それぞれのアプリケーションのCD-ROMも必要です。また、本機購入後に自分でインストールしたアプリケーションを使うときは、そのインストール用のディスクが必要です。

- ・ 別売の周辺装置は取り外してください。
『はじめにお読みください』をご覧の上、本機に添付されていた機器のみを接続した状態で再セットアップを行ってください。再セットアップ後、別売の周辺機器の接続を行ってください。
- ・ Ultra SCSI インタフェースボード (Wide対応) 搭載モデルでWindowsを再セットアップする場合、Ultra SCSI インタフェースボードが工場出荷時のスロットに挿入されていることが必要です。工場出荷時のスロット位置は、次のようになりますので再セットアップの前に確認してください。

< MA86T/C、MA73T/C、MA66T/C、MA66T/A、MA56H/C、
MA53H/Sの場合 >
PCIスロット#1

< MA70J/S、MA55J/Sの場合 >
PCIスロット#3

< MA86T/M、MA66T/Mの場合 >
PCIスロット#4

スロット番号については『活用ガイド ハードウェア編』PART1 本体の構成各部』をご覧ください。

- ・ 再セットアップは途中でやめないでください。
再セットアップを始めたら、本書の手順通りに、最後まで行ってください。途中でやめた場合は、最初から再セットアップを行ってください。
- ・ 別売のアプリケーションは再セットアップ完了後にインストールを行ってください。
別売のアプリケーションも再セットアップによってすべて消去されます。再セットアップがすべて完了してから、インストールを行ってください。

標準再セットアップとカスタム再セットアップ

再セットアップには、「標準再セットアップ」と「カスタム再セットアップ」の2つがあります。またオプションとして2台目の内蔵ハードディスクドライブをフォーマットすることもできます。ここでは再セットアップの8つのパターンとNetPCモデルの場合、またオプションについての説明をします。



ファイルシステム(NTFS、FAT32またはFAT16)についてはWindows 2000のヘルプの中にあるオンライン形式の『Microsoft Windows 2000 Professionalファーストステップガイド』または『Windows NTファーストステップガイド』をご覧ください。

標準再セットアップ

1台目の内蔵ハードディスクドライブを工場出荷時と同じ状態に戻します。2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。初心者の方およびハードディスクについて知識のない方は、必ずこの方法で再セットアップしてください。



標準再セットアップする(P.24)

カスタム再セットアップ

Cドライブのみを再セットアップしたい、Cドライブの容量を変更したい場合は、この方法で再セットアップしてください。

2000... <Windows 2000を選択した場合>

CドライブのみをFAT32で再セットアップする

Cドライブのみを4GBのFAT32で再セットアップします。

Dドライブ以降はフォーマットされず、データを残しておくことができます。

2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。



CドライブのみをFAT32で再セットアップする(P.32)

CドライブのみをNTFSで再セットアップする

Cドライブのみを4GBのNTFSで再セットアップします。

Dドライブ以降はフォーマットされず、データを残しておくことができます。

2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。

参照▶ CドライブのみをNTFSで再セットアップする(P.33)

全領域を1パーティションにして再セットアップする

ハードディスクドライブの全領域を1つのパーティション(NTFS)にして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。

1台目のハードディスクドライブの内容は全て消えます。必ずデータのバックアップを行ってください。

2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。

参照▶ 全領域を1パーティション(NTFS)にして再セットアップする(P.34)

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする
(ユーザー設定による再セットアップ)

ハードディスクの領域を1GB単位で3GBから自由に設定して再セットアップします。

1台目のハードディスクドライブの内容は全て消えます。必ずデータのバックアップを行ってください。

2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。

チェック!! ハードディスクの記憶容量は、1MB = 1,000,000Byte、1GB = 1,000,000,000Byteで計算したときのMB、GB値を表してあります。Windowsでは、1MB = 1,048,576ByteでMB値を、1GB = 1,073,741,824Byte値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

参照▶ ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする(P.35)


NT..... <Windows NT 4.0を選択した場合>

CドライブのみをFAT16で再セットアップする

Cドライブのみを4GBのFAT16で再セットアップします。

Dドライブ以降はフォーマットされず、データを残しておくことができます。

2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。

 参照 CドライブのみをFAT16で再セットアップする(P.37)

CドライブのみをNTFSで再セットアップする

Cドライブのみを4GBのNTFSで再セットアップします。

Dドライブ以降はフォーマットされず、データを残しておくことができます。

2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。

 参照 CドライブのみをNTFSで再セットアップする(P.38)


8.4GBのNTFSで再セットアップする


8.4GBより少ない容量のハードディスクをお使いの場合、ハードディスクの全領域をCドライブ(NTFS)にして再セットアップします。

8.4GBを越える容量のハードディスクをお使いの場合は、8.4GBのみの領域確保となります。

1台目のハードディスクドライブの内容は全て消えます。必ずデータのバックアップを行ってください。

2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。

 **チェック!!** ハードディスクの記憶容量は、1MB = 1,000,000Byte、1GB = 1,000,000,000Byteで計算したときのMB、GB値を表してあります。Windowsでは、1MB = 1,048,576ByteでMB値を、1GB = 1,073,741,824Byte値を計算していますので、この値よりも小さな値で表示されます。

 参照 8.4GBのNTFSで再セットアップする(P.39)

NetPCモデルの再セットアップ

NetPCモデルの場合は、別売の管理者FDドライブキット(PC-NF-U001)を使用して再セットアップします。

ハードディスクを工場出荷時と同じ状態に戻す、またはCドライブのみ再セットアップの2つの再セットアップ方法があります。

参照▶ NetPCモデルを再セットアップする(P.41)

2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット

再セットアップでは2台目の内蔵ハードディスクドライブはフォーマットされません。2台目のハードディスクドライブをフォーマットしたい場合は、この方法でフォーマットしたあと、「標準再セットアップ」または「カスタム再セットアップ」を行ってください。



システムを修復する

ここでは、システム構成を変更したことで、正常にシステムが起動しなくなった場合の対処方法について説明しています。

前回正常起動時の構成を使用してシステムを修復する

システムを変更した後で、Windowsが起動できなくなった場合は、前回正常起動時の構成を使用して、問題を解決することが出来ます。



チェック!!

- ・ 前回システムが正常に起動したとき以降に行った構成の変更は、すべて破棄されます。
- ・ 構成変更後2回以上正常に起動した後では、その変更前の構成には戻りません。

前回正常起動時の構成を使用する場合は、次の手順で行ないます。

2000... Windows 2000をご利用の場合

- 1 問題があるWindows 2000を起動する
- 2 画面に「Windows 2000の問題解決と拡張起動オプションについては、F8キーを押してください。」の文字が表示されたら、【F8】を押す
- 3 「Windows 2000拡張オプションメニュー」が表示されたら、「前回正常起動時の構成」を選択し、【Enter】を押す
- 4 「オペレーティングシステムの選択」の画面で、【Enter】を押す
「ハードウェアプロファイル/構成の回復メニュー」の画面が表示されます。
このメニューでは次のいずれかを選択できます。
 - ・ 本機の起動時に使われるハードウェアプロファイルの選択
 - ・ 前回正常起動時の構成の切り替え
 - ・ 本機の再起動

- 5 ここでは、前回正常起動時の構成を使用して、問題を発生する前の構成でWindows 2000を再起動するので、【L】を押し、【Enter】を押す
これで、前回正常起動時の構成を使用してWindows 2000が起動します。

NT..... Windows NT 4.0をご利用の場合

- 1 問題があるWindows NTを起動する
- 2 画面に「ここで【Space】を押すと、ハードウェアプロファイル/システム構成の回復メニューが表示されます。」の文字が表示されたら、【Space】を押す
「ハードウェア プロファイル/構成の回復メニュー」の画面が表示されます。
このメニューでは次のいずれかを選択できます。
 - ・ 本機の起動時に使われるハードウェアプロファイルの選択
 - ・ 前回正常起動時の構成の切り替え
 - ・ 本機の再起動
- 3 ここでは、前回正常起動時の構成を使用して、問題を発生する前の構成でWindows NTを再起動するので、【L】を押し、【Enter】を押す
これで、前回正常起動時の構成を使用してWindows NTが起動します。

Safeモードで起動する(Windows 2000のみ)

2000... SafeモードはWindowsの正常な起動を行えるようにするための、特殊な診断モードです。以下の手順でSafeモードを起動させてください。

- 1 Windows 2000を起動する
- 2 「Windows 2000の問題解決と拡張起動オプションについては、F8キーを押してください。」と表示されたら、【F8】を押す
- 3 Safeモードの起動オプションを選択し、【Enter】を押す
Safeモードが起動します。

「Windows セットアップの修復」を使用してシステムを修復する

2000...Windows 2000をご利用の場合

ファイルの破損などにより、Safeモードや前回起動時の構成を使用してもWindows 2000が正常に起動しなかった場合、「システム修復ディスク」を使用するシステム修復や回復コンソールを使用してシステムを修復することができます。

システム修復および、回復コンソールの詳細についてはWindows 2000のヘルプをご覧ください。

- ☑ **チェック!!** NetPCモデルは、管理者用FDキットが必要です。システムの修復を行う場合、「Windows 2000セットアップディスク(Windows 2000 Setup Disk)」を作成しておく必要があります。1.44MBフォーマット済のフロッピーディスクを4枚用意してください。

「Windows 2000 セットアップディスク」の作成

- 1 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2 「名前」に「C:¥BOOTDISK¥MAKEBT32.EXE A:」と入力し、「OK」ボタンをクリック

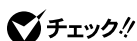
- ☑ **チェック!!** BOOTDISKフォルダをCドライブから移動した場合は、移動したドライブ名に読み替えてください。

画面の指示にしたがって「Windows 2000 セットアップディスク」の作成を行ってください。セットアップディスクの作成が終了したら、作成した「Windows 2000 Setup Boot Disk」をフロッピーディスクドライブに挿入してください。

- 3 メモ帳を起動し、AドライブのTXTSETUP.SIFを開く

4 [SetupData]セクションのSetupSourceDeviceの前のセミ コロン(;)を削除して、上書き保存する

```
[ SetupData ]  
;  
; SetupSourceDevice is optional and specifies the nt device  
path  
; of the device to be used as the setup source. This overrides  
; the CD-ROM or winnt local source.  
;  
; SetupSourceDevice = %device%harddisk0%partition1  
  
SetupSourceDevice = %device%harddisk0%partition1
```



チェック!

この記述はi386フォルダのある場所を指定するものです。修復セットアップを行う場合、i386フォルダはルートになければなりません。i386フォルダを移動する場合は注意してください。i386フォルダをCドライブから移動した場合は、記述を変更してください。

harddiskは、ハードディスクの番号です(0から始まります)

partitionは、パーティションの番号です(1から始まります)

ハードディスク、パーティションの番号は、「スタート」ボタン「コントロールパネル」「管理ツール」「コンピュータの管理」「記憶域」「ディスクの管理」で確認してください。

「システム修復/回復コンソール」の開始

- 1 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows 2000 Setup Boot Disk」をセットする
- 2 画面の指示に従って、セットアップディスクを入れ替える
- 3 「セットアップへようこそ」画面でWindows 2000をセットアップするか、Windows 2000を修復するのかを指定するよう聞かれるので、【R】を押して修復を選択する
- 4 キーボードの選択画面になるので、画面の指示に従ってキーボードの選択を行う

5 「Windows 2000修復 オプション」画面になり、回復コンソールかシステム修復処理かを指定するよう聞かれるので、回復コンソールを使用する場合は【C】を、システム修復処理を使用する場合は【R】を押す

6 画面の指示に従い、修復を行う

- ✔ **チェック!**
- ・「システム修復ディスク」をバックアップ目的に使用することはできません。
 - ・Windows 2000のrepairフォルダ内の情報ならびに「システム修復ディスク」の情報は、常に最新の情報になるようにしてください。最新の構成情報がシステム修復時に反映されていないと、修復時に予期せぬエラーを引き起こす場合があります。

NT.....Windows NT 4.0をご利用の場合

ファイルなどの破損により、前回正常起動時の構成を使用してもWindows NTが正常に起動しなかった場合、「Windows NTセットアップの修復」ならびに「システム修復ディスク」を使用してシステムを修復できます。「システム修復ディスク」を作成していない場合または紛失してしまった場合でも、Windows NTのrepairフォルダの中に修復に必要な情報が保存されているため修復は可能です。

- ✔ **チェック!**
- スーパーディスクドライブ搭載モデルでは、「Windows NTセットアップの修復」はできません。NetPCモデルは、管理者用FDキットが必要です。「Windows NTセットアップの修復」を行うには、あらかじめ「Windows NT Workstationセットアップディスク」を作成しておく必要があります。1.44MBフォーマット済のフロッピーディスクを3枚用意してください。

「Windows NT Workstationセットアップディスク」の作成

- 1** 「スタート」ボタン 「ファイル名を指定して実行」をクリック
- 2** 「名前」に「C:¥i386¥WINNT32 /OX」と入力し、「OK」ボタンをクリック

- ✔ **チェック!**
- i386フォルダをCドライブから移動した場合は、移動したドライブ名に読み替えてください。i386フォルダはルートになければなりません。i386フォルダを移動する場合は注意してください。

- 3 「Windows NT 4.0のアップグレード/インストール」画面で、「続行」ボタンをクリック
画面の指示に従って「Windows NT Workstationセットアップディスク」の作成を行ってください。
Setup Diskの作成が終了したら、「Windows NT Workstationセットアップブートディスク」をフロッピーディスクドライブに挿入したままにしてください。
- 4 NTエクスプローラを起動し、AドライブのTXTSETUP.SIFを右クリックし、プロパティをクリック
- 5 「読み取り専用」のチェックを外し、「OK」ボタンをクリック
- 6 メモ帳を起動し、AドライブのTXTSETUP.SIFを開く
- 7 [SetupData]セクションのSetupSourceDeviceの前のセミコロン(;)を削除して、上書き保存する
[SetupData]
;
; SetupSourceDevice is optional and specifies the nt device path
; of the device to be used as the setup source. This overrides
; the CD-ROM or winnt local source.
;
; SetupSourceDevice = %device%harddisk0%partition1

SetupSourceDevice = %device%harddisk0%partition1



チェック!!

この記述はi386フォルダのある場所を指定するものです。i386フォルダをCドライブから移動した場合は、記述を変更してください。

harddiskは、ハードディスクの番号(0から始まります)

partitionは、パーティションの番号(1から始まります)

ハードディスク、パーティションの番号は、「スタート」ボタン「プログラム」「管理ツール」「ディスクアドミニストレータ」で確認してください。

「システム修復」の開始

- 1 本機の電源を入れ、すぐにフロッピーディスクドライブに「Windows NT Workstationセットアップブートディスク」をセットする
- 2 画面の指示に従ってセットアップディスクを入れ替える
- 3 「セットアップへようこそ」画面でWindows NTをセットアップするのか、Windows NTを修復するのかを指定するよう聞かれるので、【R】を押してWindows NTのファイルの修復を選択する
- 4 画面の指示に従って修復を行う。「システム修復ディスク」をセットするように指示されたら、「システム修復ディスク」をフロッピーディスクドライブにセットする。「システム修復ディスク」がない場合は、本機上で見つかったWindows NTの一覧が表示されるので、修復するWindows NTを指定する
- 5 画面の指示に従って修復を行う
「...は、セットアップでWindows NTのインストール時にコピーしたオリジナルのファイルではありません。」と表示されたら、スキップを選択する
スキップを選択しないと修復できません。
- 6 修復終了のメッセージが表示されたら、フロッピーディスクドライブよりフロッピーディスクを取り出して再起動する



チェック!

- ・ 修復ディスクユーティリティをバックアップ目的に使用することはできません。
- ・ Windows NTのrepairフォルダ内の情報ならびに「システム修復ディスク」の情報は、常に最新の情報になるようにしてください。最新の構成情報がシステム修復時に反映されていないと、修復時に予期せぬエラーを引き起こす可能性があります。構成情報を最新に変更するには、rdisk.exeを使用してください。使用方法については、Windows NTのオンラインヘルプ「修復ディスクユーティリティのヘルプ」をご覧ください。

標準再セットアップする

標準再セットアップについて

1台目のハードディスクドライブに対して再セットアップが行われます。2台目の内蔵ハードディスクを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。スーパーディスクドライブ搭載モデルをお使いの方は、フロッピーディスクドライブをスーパーディスクドライブと読み替えてください。

- チェック!!**
- ・ 購入時に選択したオペレーティングシステム以外は選択することはできません。
 - ・ 再セットアップにかかる時間はオペレーティングシステムやモデルによって異なります。(40分～1時間30分程度)

- 1 本機の電源を入れる
- 2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(1枚目)」をセットする
- 4 次の画面が表示されたら、【Enter】を押す

Windows 再セットアップ

Windows の再セットアップを行います。
必ず、『活用ガイド 再セットアップ編』に従って、再セットアップを行ってください。

再セットアップを行うには、次のものが必要です。

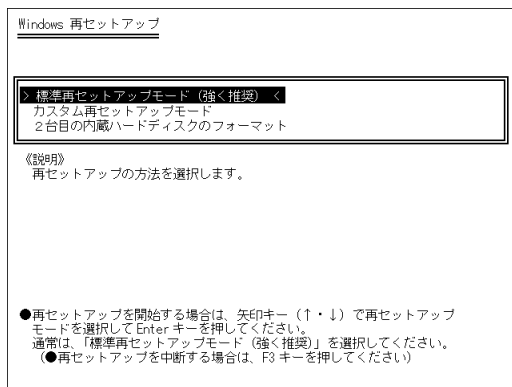
- ・バックアップCD-ROM
- ・システムインストールディスク (使用中のフロッピーディスク)

《注意!》

- ・再セットアップを行うとハードディスクの内容はすべて消去されます。
- ・再セットアップは、途中で中断しないでください。
- ・(もし、中断した場合は、最初からやり直してください。)
- ・再セットアップには、40分～1時間30分程度かかります。
- ・(モデルによって異なります。)
- ・本機に増設した2台目の内蔵ハードディスクはフォーマットされません。
- ・2台目の内蔵ハードディスクをフォーマットする場合は、「2台目の内蔵ハードディスクのフォーマット」を選択してください。
- ・本機ご購入後にボードや周辺機器を増設した場合は、この説明画面を終了して増設したボードや周辺機器を取り外してから再セットアップを行ってください。

- 再セットアップを開始する場合は、Enter キーを押してください。
- 再セットアップを開始しない場合は、F3 キーを押してください。

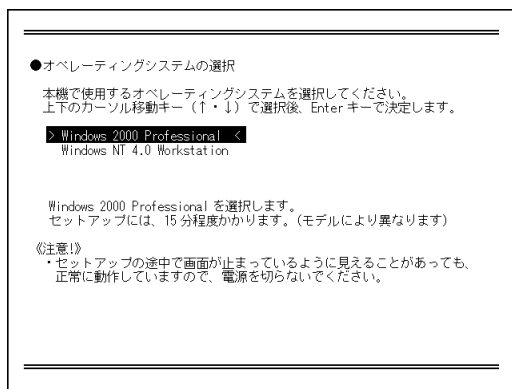
5 次の画面が表示されたら、「標準再セットアップモード(強く推奨)」を選択し、【Enter】を押す



6 画面の指示に従って再セットアップを行う

- ✓チェック!** 「Insert next media and press enter to continue...」と表示されたら、CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(2枚目)」をセットして、【Enter】を押してください。

7 次の画面が表示されたら使用するオペレーティングシステムを選択して【Enter】を押す





これ以降の手順は画面の指示に従って行ってください。

次にWindows 2000を再セットアップした場合は「Windows 2000の設定をする (P.26)」、Windows NT 4.0を再セットアップした場合は「Windows NT 4.0の設定をする (P.28)」に進んでください。

Windows 2000の設定をする

ここで行う操作は、はじめて本機の電源を入れたときの操作(『はじめにお読みください』)と同じ操作です。

- 1 「Windows 2000セットアップウィザードの開始」の画面が表示されたら、「次へ」ボタンをクリック
- 2 「ライセンス契約」の画面を確認する
をクリックするか、キーボードの【PageDown】を押すと、「契約書」の下の方を読むことができます。
- 3 「同意します」をクリックし、「次へ」ボタンをクリック
(同意しない場合セットアップは続行できません)
- 4 「ソフトウェアの個人用設定」の画面が表示されたら、キーボードを使って名前と組織名を入力し、「次へ」ボタンをクリック
名前を入力しないと、次の操作に進むことはできません。ここで入力した名前、組織名は再セットアップが完了した後には変更できません。変更するには、再セットアップが必要です。
- 5 「コンピュータ名とAdministratorのパスワード」の画面が表示されたら、コンピュータ名および、パスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック
- 6 「Windows 2000セットアップウィザードの完了」の画面が表示されたら、「完了」ボタンをクリック
自動的に再起動します。
- 7 再起動後、「ネットワーク識別ウィザードの開始」の画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリック
- 8 「このコンピュータのユーザー」の画面が表示されたら、必要な項目を入力し、「次へ」ボタンをクリック

 **チェック!!** 設定についてはネットワーク管理者にお問い合わせください。

9 「ネットワーク識別ウィザードの終了」の画面が表示されたら、
「完了」ボタンをクリック

10 「Windowsへのログオン」の画面が表示された場合は、手順5で
設定したパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリック
途中で何度か画面が変わり、デスクトップ画面が表示されるまで
しばらくお待ちください。

アプリケーションを再セットアップする(選択アプリケーションのあるモデルのみ)

各アプリケーションを再セットアップしてください。

再セットアップ方法は『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーション
の概要と削除/追加』の「追加」をご覧ください。

購入後に行った設定をやり直す

購入後に行った設定は、再セットアップによってすべてなくなります。再
度、設定し直してください。別売の周辺機器がある場合は接続して設定し
直してください。ネットワークの設定なども再設定してください。また、
別売のアプリケーションをインストールしていた場合もインストールし
直してください。

Windows NT 4.0の設定をする

ここで言う操作は、はじめて本機の電源を入れたときの操作(『はじめにお読みください』)と同じ操作です。

- 1 「ソフトウェア使用許諾契約」の画面を確認する
- 2 「同意します」ボタンをクリック
(「同意しません」ボタンをクリックした場合、セットアップは続行できません)
- 3 「Windows NTセットアップ」の画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリック
- 4 「名前と組織名」の画面が表示されたら、キーボードを使って名前と組織名を入力し、「次へ」ボタンをクリック
名前を入力しないと次の操作に進むことはできません。ここで登録した名前や会社名は、セットアップが完了した後には変更できません。変更するには、再セットアップが必要です。
- 5 「コンピュータ名」の画面でコンピュータ名を入力し、「次へ」ボタンをクリック
- 6 「管理者アカウント」の画面でパスワードを入力し、「次へ」ボタンをクリック
- 7 「Windows NTセットアップ」の画面が表示された場合は、「次へ」ボタンをクリック
途中で何度か画面が変わり、次の画面が出るまで数分から10数分かかります。
- 8 再起動の画面が表示されたら、「コンピュータの再起動」ボタンをクリック
- 9 「ログオンの開始」の画面が表示されたら、キーボードの【Ctrl】と【Alt】を押しながら【Delete】を同時に押す

- 10** 手順6で設定したパスワードを入力し、「OK」ボタンをクリック途中で何度か画面が変わり、次の画面が出るまでしばらくかかります。

アプリケーションを再セットアップする(選択アプリケーションのあるモデルのみ)

各アプリケーションを再セットアップしてください。

再セットアップ方法は『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加」の「追加」をご覧ください。

購入後に行った設定をやり直す

購入後に行った設定は、再セットアップによってすべてなくなっている
ので、設定し直してください。別売の周辺機器がある場合は接続して設定
し直してください。ネットワークの設定なども再設定してください。ま
た、別売のアプリケーションをインストールしていた場合もインストール
し直してください。

カスタム再セットアップする

カスタム再セットアップについて

Cドライブのみを再セットアップしたい、Cドライブの容量を変更したい、またはDドライブ以降のデータを残しておきたい場合は、次の手順で再セットアップしてください。

スーパーディスクドライブ搭載モデルをお使いの方は、フロッピーディスクドライブをスーパーディスクドライブと読み替えてください。

- ✓ **チェック!!**
- ・ 購入時に選択したオペレーティングシステム以外は選択することはできません。
 - ・ 再セットアップにかかる時間はオペレーティングシステムや再セットアップ方法、またはモデルによって異なります。(40分~1時間30分程度)

- 1 本機の電源を入れる
- 2 電源ランプがついたら、すぐに「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 3 CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(1枚目)」をセットする
- 4 次の画面が表示されたら、【Enter】を押す

Windows 再セットアップ

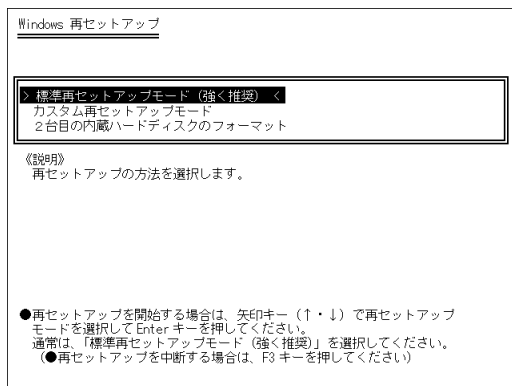
Windows の再セットアップを行います。
必ず、「活用ガイド 再セットアップ編」に従って、再セットアップを行ってください。
再セットアップを行うには、次のものがが必要です。
・バックアップCD-ROM
・システムインストールディスク(使用中のフロッピーディスク)

《注意!》

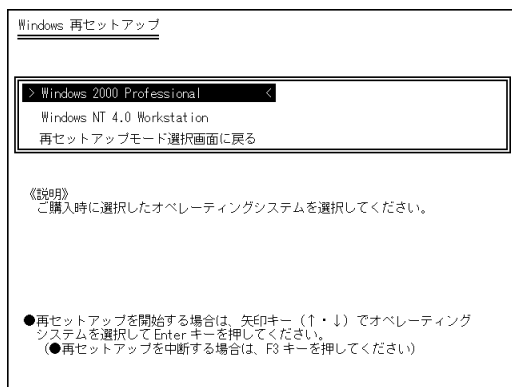
- ・再セットアップを行うとハードディスクの内容はすべて消去されます。
- ・再セットアップは、途中で中断しないでください。
(もし、中断した場合は、最初からやり直してください。)
- ・再セットアップには、40分~1時間30分程度かかります。
(モデルによって異なります)
- ・本機に増設した2台目の内蔵ハードディスクはフォーマットされません。
2台目の内蔵ハードディスクをフォーマットする場合は、この画面を終了して2台目の内蔵ハードディスクのフォーマットを選択してください。
- ・本機ご購入後にボードや周辺機器を増設した場合は、この説明画面を終了して増設したボードや周辺機器を取り外してから再セットアップを行ってください。

- 再セットアップを開始する場合は、Enter キーを押してください。
- 再セットアップを開始しない場合は、F3 キーを押してください。

5 次の画面が表示されたら、「カスタム再セットアップモード」を選択し、【Enter】を押す



6 次の画面が表示されたら、再セットアップするオペレーティングシステムを選択して【Enter】を押す



Windows 2000を選択した場合は「Windows 2000をカスタム再セットアップする (P.32)」、Windows NT 4.0を選択した場合は「Windows NT 4.0をカスタム再セットアップする (P.37)」へ進んでください。

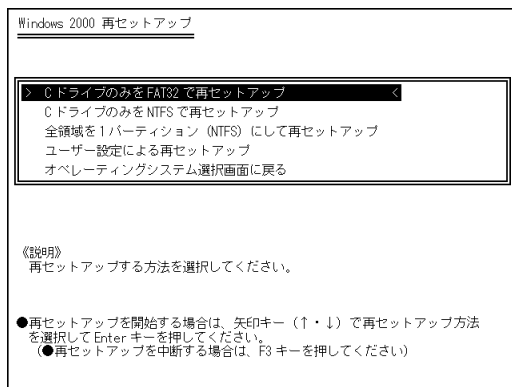
Windows 2000をカスタム再セットアップする

CドライブのみをFAT32で再セットアップする

Cドライブのみを4GBのFAT32で再セットアップします。
Dドライブ以降はフォーマットされず、データを残しておくことができます。

2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。

- 1 「カスタム再セットアップする」の「カスタム再セットアップについて」の手順1～6を行う(P.30)
- 2 次の画面が表示されたら、「CドライブのみをFAT32で再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す



- 3 「CドライブにWindows 2000(FAT32)を再セットアップします。よろしいですか？」と表示されたら、「はい」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従って行ってください。

✓チェック!! 「Insert next media and press enter to continue...」と表示されたら、CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(2枚目)」をセットして、【Enter】を押してください。

「Windows 2000 セットアップウィザード」の画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「標準再セットアップする」の「Windows 2000の設定をする (P.26)へ進んで、その後の操作を行ってください。

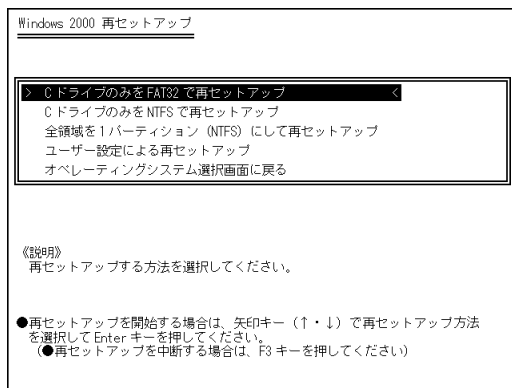
CドライブのみをNTFSで再セットアップする

Cドライブのみを4GBのNTFSで再セットアップします。

Dドライブ以降はフォーマットされず、データを残しておくことができます。

2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。

- 1 「カスタム再セットアップする」の「カスタム再セットアップについて」の手順1～6を行う(P.30)
- 2 次の画面が表示されたら、「CドライブのみをNTFSで再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す



- 3 「CドライブにWindows 2000(NTFS)を再セットアップします。よろしいですか?」と表示されたら、「はい」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従って行ってください。



チェック!!

「Insert next media and press enter to continue...」と表示されたら、CD-ROM ドライブに「バックアップCD-ROM(2枚目)」をセットして、【Enter】を押してください。

「Windows 2000 セットアップウィザード」の画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

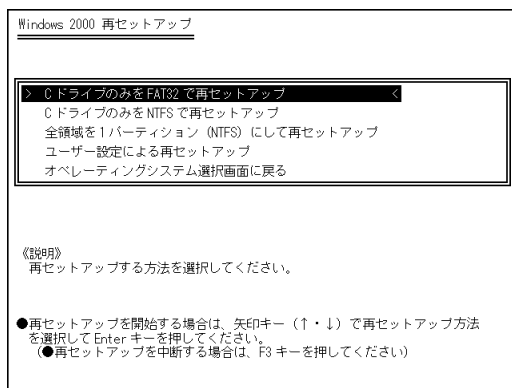
「標準再セットアップする」の「Windows 2000の設定をする (P.26)へ進んで、その後の操作を行ってください。

全領域を1パーティション(NTFS)にして再セットアップする

1台目のハードディスクドライブ(プライマリマスタ)の全領域を1つのパーティション(NTFS)にして再セットアップします。Cドライブのハードディスク容量を最大にすることができます。

1台目のハードディスクドライブの内容は全て消えます。必ずデータのバックアップを行ってください。2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。

- 1 「カスタム再セットアップする」の「カスタム再セットアップについて」の手順1~6を行う(P.30)
- 2 次の画面が表示されたら、「全領域を1パーティションにして再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す



- 3 「ハードディスクの全領域をフォーマットしてWindows 2000を再セットアップします。よろしいですか?」と表示されたら、「はい」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従って行ってください。

チェック!! 「Insert next media and press enter to continue...」と表示されたら、CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(2枚目)」をセットして、【Enter】を押してください。

「Windows 2000セットアップウィザード」の画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「標準再セットアップする」の「Windows 2000の設定をする (P.26)へ進んで、その後の操作を行ってください。

ハードディスクの領域を自由に設定して再セットアップする

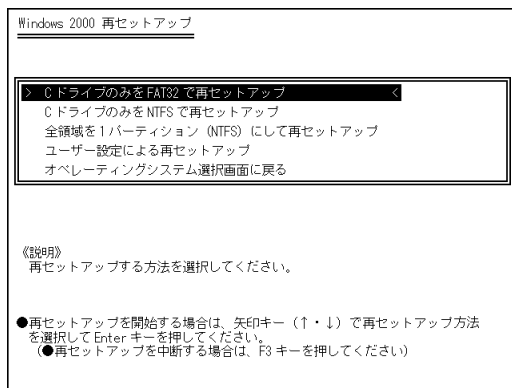
ハードディスクの領域を3.0GB以上、1.0GB単位で自由に設定して再セットアップします。

1台目のハードディスクの内容は全て消えます。必ずデータのバックアップを行ってください。

2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。

1 「カスタム再セットアップする」の「カスタム再セットアップについて」の手順1～6を行う(P.30)

2 次の画面が表示されたら、「ユーザー設定による再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す



3 「CドライブのサイズをGB単位(NTFS)で指定できます。」と表示されたら、テンキーを使用して確保したいCドライブの容量を入力する

✔ **チェック!!** ハードディスクの記憶容量は、1MB = 1,000,000Byte、1GB = 1,000,000,000Byteで計算したときのMB、GB値を表してあります。Windowsでは、1MB = 1,048,576ByteでMB値を、1GB = 1,073,741,824Byte値を計算していますので、指定した値よりも小さな値で表示されます。

4 「この設定でよろしければF8キーを押してください。」と表示されたら、指定した値が表示されていることを確認して、【F8】を押す これ以降の手順は画面の指示に従って行ってください。

✔ **チェック!!** 「Insert next media and press enter to continue...」と表示されたら、CD-ROMドライブに「バックアップCD-ROM(2枚目)」をセットして、【Enter】を押してください。

「Windows 2000セットアップウィザード」の画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「標準再セットアップする」の「Windows 2000の設定をする (P.26)へ進んで、その後の操作を行ってください。

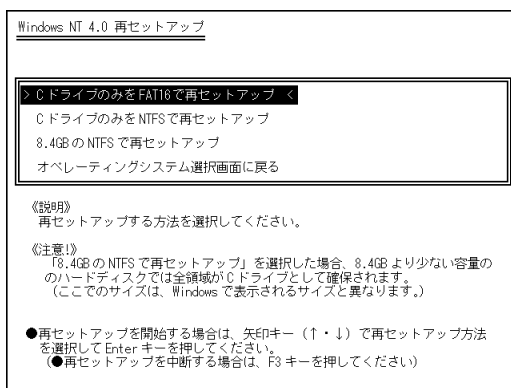
Windows NT 4.0をカスタム再セットアップする

CドライブのみをFAT16で再セットアップする

Cドライブのみを4GBのFAT16で再セットアップします。
Dドライブ以降はフォーマットされず、データを残しておくことができます。

2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。

- 1 「カスタム再セットアップする」の「カスタム再セットアップについて」の手順1～6を行う(P.30)
- 2 次の画面が表示されたら、「CドライブのみをFAT16で再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す



- 3 「CドライブにWindows NT 4.0(FAT16)を再セットアップします。よろしいですか？」と表示されたら、「はい」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従って行ってください。

「ソフトウェア使用許諾契約」の画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「標準再セットアップする」の「Windows NT 4.0の設定をする (P.28)」へ進んで、その後の操作を行ってください。

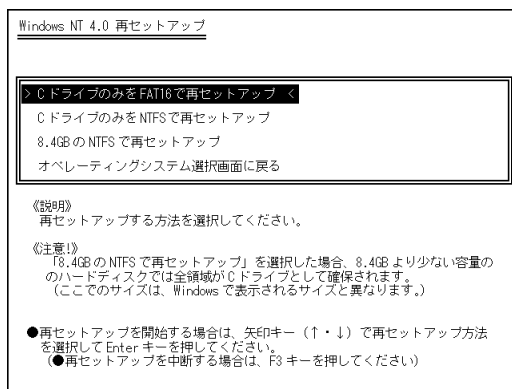
CドライブのみをNTFSで再セットアップする

Cドライブのみを4GBのNTFSで再セットアップします。

Dドライブ以降はフォーマットされず、データを残しておくことができます。

2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。

- 1 「カスタム再セットアップする」の「カスタム再セットアップについて」の手順1～6を行う(P.30)
- 2 次の画面が表示されたら、「CドライブのみをNTFSで再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す



- 3 「CドライブにWindows NT 4.0(NTFS)を再セットアップします。よろしいですか？」と表示されたら、「はい」を選択し、【Enter】を押す

これ以降の手順は画面の指示に従って行ってください。

「ソフトウェア使用許諾契約」の画面が表示されたら、これ以降の操作は、標準再セットアップの場合と同じです。

「標準再セットアップする」の「Windows NT 4.0の設定をする (P.28)」へ進んで、その後の操作を行ってください。

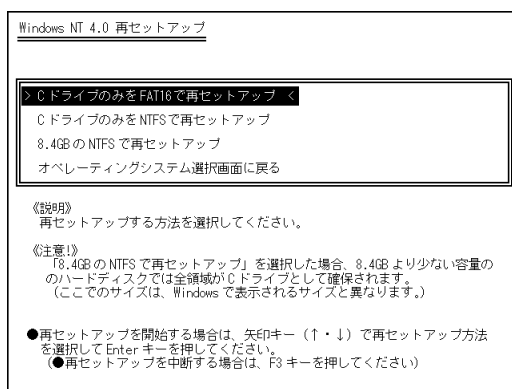
8.4GBのNTFSで再セットアップする

8.4GBより少ない容量のハードディスクをお使いの場合、ハードディスクの全領域をCドライブ(NTFS)にして再セットアップします。8.4GBを越える容量のハードディスクをお使いの場合は、8.4GBのみの領域確保となります。

1台目のハードディスクドライブの内容は全て消えます。必ずデータのバックアップを行ってください。

2台目の内蔵ハードディスクドライブを増設している場合、そのドライブの内容は保持されます。

- 1 「カスタム再セットアップする」の「カスタム再セットアップについて」の手順1～6を行う(P.30)
- 2 次の画面が表示されたら、「8.4GBのNTFSで再セットアップ」を選択し、【Enter】を押す



3 「8.4GBのNTFSでWindows NT 4.0を再セットアップします。 よろしいですか?」と表示されたら、「はい」を選択し、【Enter】を 押す

- ✔ **チェック!!** ハードディスクの記憶容量は、1MB = 1,000,000Byte、1GB = 1,000,000,000Byte
で計算したときのMB、GB値を表してあります。Windowsでは、1MB =
1,048,576ByteでMB値を、1GB = 1,073,741,824Byte値を計算しています
ので、この値よりも小さな値で表示されます。

これ以降の手順は画面の指示に従って行ってください。

- ✔ **チェック!!** 「Preinstallation completed successfully. Press any key to Shutdown/
reboot.」と表示されたら、【Enter】を押してください。

「ソフトウェア使用許諾契約」の画面が表示されたら、これ以降の操作は、
標準再セットアップの場合と同じです。

「標準再セットアップする」の「Windows NT 4.0の設定をする (P.28)へ
進んで、その後の操作を行ってください。



NetPCモデルを再セットアップする

NetPCモデルを再セットアップするには、別売の管理者FDドライブキット(PC-NF-U001)ならびに管理者用FDドライブキット接続ケーブル(PC-NF-U002)が必要です。

再セットアップする前の注意

- ・ 再セットアップの作業に入る前に次のものを準備してください。

「バックアップCD-ROM」 (本機添付)

「アプリケーションCD-ROM」 (本機添付)

「システムインストールディスク」(本機添付)

フロッピーディスク 1枚

- ・ 1.44でフォーマットしてください。
- ・ 次の内容を書いたラベルを貼っておいてください。

「NetPC用システムインストールディスク(起動用)」

また、「PC-NF-U001 管理者用FDドライブキット(別売)に添付されている次のフロッピーディスクを用意してください。

「起動ディスク#1」

「起動ディスク#2」

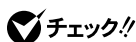
- ・ 本機とネットワークにて接続されたCD-ROMドライブを内蔵する次のオペレーティングシステムがインストールされたコンピュータが必要です。
 - ・ Windows 2000 Professional
 - ・ Windows 2000 Server
 - ・ Windows NT Workstation 4.0
 - ・ Windows NT Server 4.0
- ・ フロッピーディスクドライブを本機に接続する際は、『PC-NF-U002管理者用FDドライブキット接続ケーブル取り扱いの手引き』を参照してください。

- ・ フロッピーディスクドライブ以外の別売の周辺装置は取り外してください。
『はじめにお読みください』をご覧の上、本機に添付されていた機器のみを接続した状態で再セットアップを行ってください。再セットアップ後、別売の周辺機器の接続を行ってください。

再セットアップの手順

再セットアップは次の手順で行います。

- 1 起動ディスクの環境を変更する
- 2 システムの設定を変更する
- 3 Windowsを再セットアップする



チェック!

- ・ ご購入時に選択したオペレーティングシステムを選択してください。選択しなかったオペレーティングシステムをご利用になる場合は、ライセンス取得のため別途オペレーティングシステムをご購入していただく必要があります。
- ・ 再セットアップは途中で中断しないでください。もし中断したときは、最初からやり直してください。

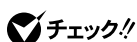
- 4 システムの設定を元に戻す
- 5 選択アプリケーションのあるモデルの場合は、各アプリケーションを再セットアップする(約15分)
- 6 購入後に行った設定をやり直す

1. 起動ディスクの環境の変更

起動ディスクは、標準で次の設定が行われます。

IPアドレス : DHCPによる割り当て
コンピュータ名 : NETFINE
ドメイン : なし
ユーザ名 : ADMINISTRATOR

利用する環境に応じ、メモ帳等のエディタを用いて、次の手順に従って起動ディスクの環境ファイルを修正してください。



チェック!!

- ・ これ以降の作業はWindows 2000、またはWindows NT 4.0上で行ってください。
- ・ 起動ディスクは、あらかじめ複製を行い、複製したものを使用してください。
- ・ フロッピーディスクは、ライトプロテクトをかけない状態でご使用ください。

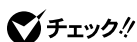
1 「システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする

2 コマンドプロンプトから、次のように入力する

```
A:【Enter】  
CD NETPC【Enter】  
NETPCPRE <CD-ROMドライブ名>: C:¥NETPC【Enter】
```

これ以降は、画面の指示に従ってください。

3 「NetPC用システムインストールディスク(起動用)」および「起動ディスク#2」の「PROTOCOL.INI」ファイルの「IPアドレス」を次のように変更する



チェック!!

DHCPを利用する環境では、本項目を修正する必要はありません。

```
[ TCP/IP_XIF ]
```

```
DISABLEDHCP=1
```

```
IPADDRESS0=10 0 0 1
```

```
SUBNETMASK0=255 0 0 0
```

DHCPによる割り当てを無効にします。

IPアドレスを指定します。他のPCと競合しないように設定してください。

サブネットマスクを指定します。

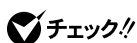
4 「起動ディスク#2」の「LANMAN.INI」ファイルの「コンピュータ名」を次のように変更する

[workstation]

computername=NETFINE

コンピュータ名を指定します。ネットワーク上の他のPCと競合しないように設定してください。

5 「起動ディスク#2」の「AUTOEXEC.BAT」ファイルの「ドメイン名」「ユーザ名」を次のように変更する



チェック!

ドメインにログオンしない場合は、ドメイン名にSTANDALONEを指定してください。


NET LOGON /D:domain user

domainにはログオンするドメイン名、userにはユーザ名を指定します。

以上で「1. 起動ディスクの環境の変更」は終了です。

次に「2. システムの設定を変更する」に進んでください。

2. システムの設定を変更する

-  **チェック!!** BIOSセットアップメニューは、工場出荷時の状態では英語で表示されます。日本語のメニューを表示する方法は、『活用ガイド ハードウェア編』「PART2 システム設定」をご覧ください。

1 本機の電源を入れる

2 「NEC」のロゴの表示画面で「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot.」と表示されたら、【F2】を押す

3 メニューバーの「Main」で次のように設定する

- ・ Legacy Diskette A:1.44/1.25 MB 3 1/2"

4 メニューバーの「Boot」で下記のように設定する

- 1.[Removable Devices]
- 2.[Hard Drive]
- 3.[Network Boot]
- 4.[ATAPI CD-ROM Drive]

5 メニューバーの「Exit」で「Save Changes」を選択し、BIOSセットアップメニューを終了させて、本機の電源を切る

以上で「2.システムの設定を変更する」は終了です。

次に「3.Windowsを再セットアップする」に進んでください。

3. Windowsを再セットアップする

- ✔ **チェック!** あらかじめ、ネットワークコンピュータのCD-ROMドライブを共有化してください。

- 1 本機の電源を入れる
- 2 電源ランプがついたら、すぐに「NetPC用システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットする
- 3 再起動後、「ディスク2に交換してください。」と表示されたら、「起動ディスク#2」をフロッピーディスクドライブにセットし、何かキーを押す
- 4 「パスワードを入力してください:」と表示されたら、パスワードを入力する

- 5 次のように入力する

NET USE Q: ¥¥computer¥share【Enter】

computer : ネットワークコンピュータ名

share : ネットワークコンピュータのCD-ROMドライブ共有名

- ✔ **チェック!** ドライブ名は必ず「Q:」と指定してください。共有するドライブ名はネットワークコンピュータ側が指定した共有ドライブ名を入力してください。

- 6 「NetPC用システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットし、「バックアップCD-ROM(1枚目)」をネットワークコンピュータのCD-ROMドライブ(共有したドライブ)にセットする
- 7 コマンドプロンプトから次のように入力する
<標準再セットアップを行う場合>
NETPCSET【Enter】

2000... <CドライブのみをFAT32で再セットアップを行う場合>
NETPCW2K.BAT【Enter】

NT..... <CドライブのみをFAT16で再セットアップを行う場合>
NETPCNT.BAT【Enter】

画面の指示に従ってください。

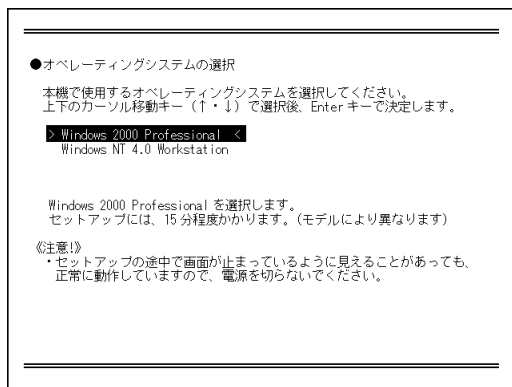
✓チェック!! 「Insert next media and press enter to continue...」と表示された場合は、CD-ROMドライブにバックアップCD-ROM(2枚目)をセットして、【Enter】を押してください。

8 「Windowsをセットアップする準備を続けるために、本機を再起動します。」と表示されたら「NetPC用システムインストールディスク(起動用)」をフロッピーディスクドライブにセットし、手順3~7を行う

9 フロッピーディスクを取り出し、【Enter】を押す


10 次の画面が表示された場合は、使用するオペレーティングシステムを選択して【Enter】を押す

✓チェック!! 購入時に選択したオペレーティングシステム以外は選択することはできません。



Windows 2000を選択した場合は「Windows 2000の設定をする (P.26) へ、Windows NT 4.0を選択した場合は「Windows NT 4.0の設定をする」 (P.28) をご覧になり、セットアップを行ってください。
セットアップが終了したら、次に「4. システム設定を元に戻す」へ進んでください。

4. システムの設定を元に戻す

 **チェック!** BIOSセットアップメニューは、工場出荷時の状態では英語で表示されます。日本語のメニューを表示する方法は、『活用ガイド ハードウェア編』 「PART2 システム設定」をご覧ください。

- 1 電源を入れる
- 2 「NEC」のロゴの表示画面で「Press F2 to Enter BIOS Setup, F12 to Network Boot.」と表示されたら、【F2】を押す
- 3 メニューバーの「Main」で次のように設定する
Legacy Diskette A:Disabled
- 4 メニューバーの「Boot」で「Removable Devices」を選択し、【-】を押してリストの上から4番目に移動する
- 5 メニューバーの「Exit」で「Save Changes」を選択し、BIOSセットアップメニューを終了させて、本機の電源を切る
- 6 フロッピーディスクドライブを取り外す

5. アプリケーションを再セットアップする(選択アプリケーションのあるモデルのみ)

各アプリケーションを再セットアップしてください。

再セットアップ方法は『活用ガイド ソフトウェア編』アプリケーションの概要と削除/追加をご覧ください。

6. 購入後に行った設定をやり直す

購入後に行った設定は、再セットアップによってすべてなくなります。再度、設定し直してください。

別売の周辺機器がある場合は接続して設定し直してください。ネットワークの設定なども再設定してください。また、別売のアプリケーションをインストールしていた場合もインストールし直してください。



活用ガイド 再セットアップ編

PC98-**NX** シリーズ

Mate

(Windows 2000 Professional /
Windows NT 4.0セレクトブルモデル)

このマニュアルは再生紙(古紙率100%)を
使用しています。

808-877675-182-A

初版 2000年5月

NEC

P